

あとがき

平成 10 年度に同様な調査を実施して以来、その後、当財団の助成事業が研究者の方々にどの様に活用され認識されているか興味を抱いて来た。その間、経済は長期にわたり低迷し、大学等の研究環境も“研究費も出すが具体的な成果を要求する”様に变化してきた。そこで丁度 5 年を経過したところで区切りでも有りアンケート調査を実施した。

その結果、音響界にも変化の波が押し寄せている一方、その様な潮流は音響研究の間尺に合わなかったりはじき出されたりと、当財団の様な民間助成に期待する声が多々聞かれた。

最後に、調査研究にご協力頂きました研究者各位に改めて厚くお礼を申し上げます。内容については、検討・考察が不十分な点多々あると思われませんが、至らぬ点のご教示・ご指導を今後とも宜しくお願い申し上げます。

- 編集・文責 (財)サウンド技術振興財団 江沢定明 -